

コ・ラ・ム

「RESPECT OUR MUSIC」 のキャンペーンにあたり



(社)日本レコード協会 専務理事
田辺 攻

今春IFPIが発表した資料によると、昨年は全世界で48億枚のCD-Rが生産されましたが、その中の50%強が音楽のコピーに利用され、正規CDの販売枚数24.5億枚とほぼ同じ規模に達したとのことです。今回、当協会が行ったユーザー実態調査を基に試算しますと、日本でも半年間で1.2億枚のCD-Rが音楽のコピーに利用されたと推計されます。今年前半6ヶ月間の国内CD生産枚数は1.7億枚で、CD-Rコピーはその70%に相当しており、日本の音楽業界でもこの問題が大きくクローズアップされてきています。

こうした動きに対し欧米のレコード業界は、CD-Rコピーやインターネット上の違法な音楽ファイル交換に対するユーザー啓発キャンペーンを相次いでスタートさせました。

当協会でも私的複製の問題や送信可能化権をより多くの人々に認知してもらうとともに、コピーコントロールCDに対する理解を深めてもらうため「RESPECT OUR MUSIC」をキャッチフレーズとして、9月末からユーザー啓発のキャンペーンを開始しました。

キャンペーンを始めるに当たっては、(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター、(社)音楽出版社協会、(社)日本音楽事業者協会、(社)音楽制作者連盟の各団体をはじめ、音楽専門衛星チャンネルやFM局などのメディアからも積極的協力や提携の申し入れを頂き、又レコード店、レンタル店の皆様にもリーフレットの配布等でご協力を頂きましたことに対し改めてお礼を述べさせていただきます。

日本の音楽産業の売上規模はレコード、コンサート、カラオケ、着メロ、オーディオ機器、楽譜、専門誌などを含めると年間3.5兆円位と推定されます。昨年のオーディオレコード生産高は5千億円強で、音楽産業全体に占める割合は2割弱にすぎませんが、ヒットアーティストを生み出し、新しい音楽を世の中に広めていく上で、レコード業界は重要な役割を担っています。

今後もオーディオレコードが音楽文化の担い手としての役割を果たしていくためには健全な“音楽創造のサイクル”の維持が必要不可欠であり、そのため業界では今、様々な施策に取り組んでいます。ユーザー啓発活動もこうした諸施策の一環として位置付けられるものであり、今後も粘り強く継続し音楽産業の活性化を目指してまいります。

Contents

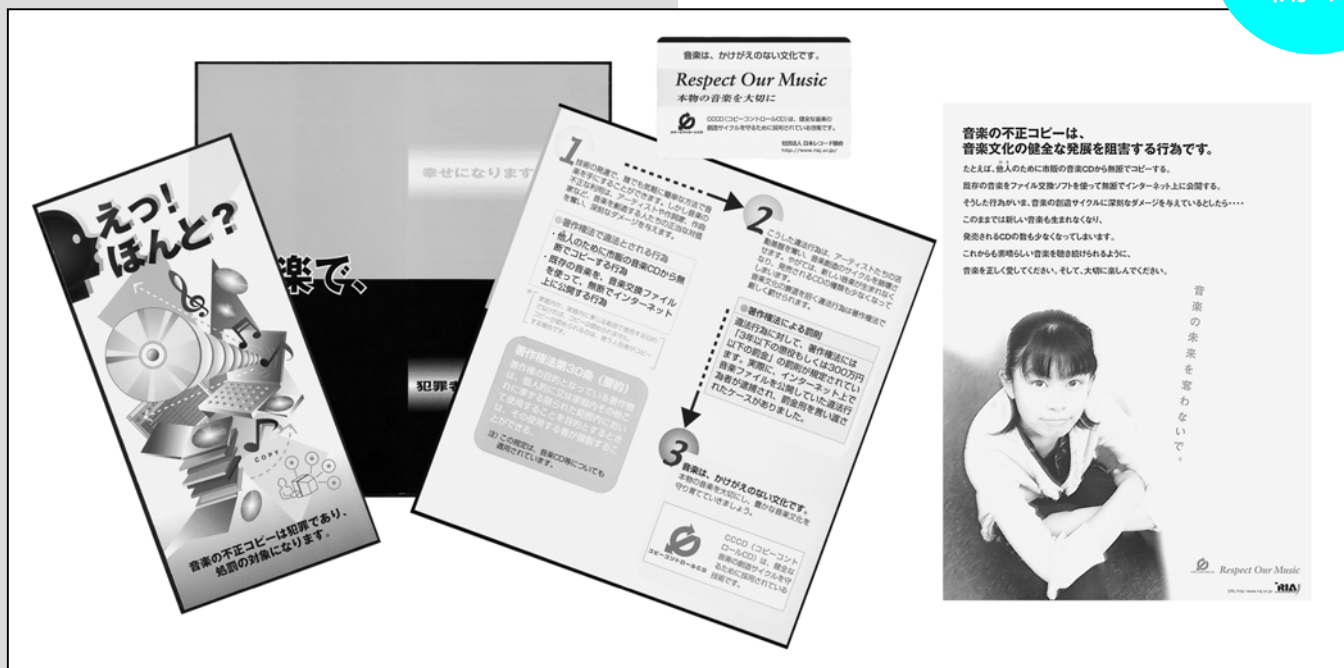
Contents

THE RECORD.....2002.10 No.515

- 「RESPECT OUR MUSIC」のキャンペーンにあたり
(社)日本レコード協会 専務理事 田辺 攻
----- 2
- 「RESPECT OUR MUSIC」キャンペーン ----- 3
- 音楽コンテンツ個人録音及びそれに関わるCD-R等の
利用実態調査 ----- 4
- 産業研究セミナー ----- 7
- 音楽ギフトカードを媒体とした他業種からの需拡 --- 8
- レコード店頭用デジタル視聴システム特別展示会 ----- 10
- Information ----- 11
第40回レコード寄贈/廃盤特別謝恩セール/
トーク&コンサート2002 in 福島/CCCDロゴ発表
(IFPI)
- 統計資料 ----- 13
- GOLD ALBUM 他 認定作品 ----- 14
- レコード生産実績 ----- 15

Respect Our Music

キャンペーン
開始



▲リーフレット、音楽ギフトカード、雑誌広告

拡大するファイル交換ソフトを利用した音楽ファイルの違法アップロードやCD-R等を用いた不正コピー等に対し、当協会では、「Respect Our Music」キャンペーンを、9月20日（金）から開始いたしました。

これは、「音楽コンテンツ個人録音及びそれに関わるCD-R等の利用実態調査」結果にも見られるとおり、私的利用の範囲を逸脱する規模で複製行為が行われている可能性があるためです。

本キャンペーンは、音楽関係団体、音楽専門メディアのご協力、ご賛同のもとに実施するもので、本キャンペーンを通じて、コピーではない音楽を正しい方法で聴いていただくことの大切さを、広く社会にご理解いただくことを目的としています。

右に本キャンペーンの主な展開をお知らせいたします。

- 音楽専門チャンネル4局でのTVスポットCM放映（9月20日～）
MTV、SPACE SHOWER TV、SPACE SHOWER Video Music Ch.、Viewsic
- TOKYO FM系全国FM37局「MOTHER MUSIC」（22:00-23:55）内（10月1日～）での啓発番組提供、スポットCM
- 啓発リーフレット50万部製作、配布（9月20日～）
配布先：CDレンタル店店頭、CD販売店店頭他
- 渋谷街頭ビジョンでのスポットCM放映
渋谷スーパーライザ
- 啓発音楽ギフトカード製作、配布
- 雑誌広告
CDで一た、ザッピィ（10月20日号）
- 新聞広告
（11月中旬に全国紙に掲載予定）
- 当協会ホームページ
<http://www.riaj.or.jp>

「音楽コンテンツ個人録音及びそれに関わるCD-R等の利用実態調査」実施

音楽CDのCD-Rコピーが半年間で約1億2千万枚に

当協会では、一般生活者を対象に「音楽コンテンツ個人録音及びそれに関わるCD-R等の利用実態調査」を本年6月14日～7月3日に実施し、このたび、その調査結果がまとまりました。

本調査は、デジタル・ネットワーク技術の発達によるユーザーの音楽利用状況の急速な変化の中で、デジタル音楽コンテンツのCD-R等への個人録音の実態とユーザーの意識等を把握することを目的としています。

今回の調査結果の主なポイントは以下のとおりです。

1. 過去半年間の個人録音の経験者は66%と、新品CD購入者（53%）を上回る。
2. レンタル利用者（40%）のほとんどが過去半年間に個人録音を経験している。
3. 新品CDを購入しないレンタル利用及び個人録音経験者が15%、新品CDの購入及びレンタル利用のない個人録音経験者が9%で、合計24%となる。
4. コピーのための音源としては、新品CDが34%だが、レンタルCDが40%、友人・知人に借りたCDが25%と高い割合を示している。（複数回答）
5. 音楽CDのCD-R/RWコピーは年間で約2億3,600万枚と推計され、国内で一般に流通するCD-R/RWの約48%が音楽コピーの目的で使用されていると推計される。
6. CD-R録音経験者で過去半年間に友人・知人にCD-Rで音楽を録音してあげた経験者は45%で、平均4.6枚と高い割合にあり、また、CD-Rコピー後のジャケットや歌詞カード等のコピー経験者も40%を占めている。
7. CD-Rの音楽用利用としては、「CDプレーヤーや車の中で、CDと同じ音質で楽しめるクローンだから」という理由が上位を占める。以下「他メディアより安く、早くコピーができるから」という理由が続いている。
8. CD-Rコピーを利用し始めてから新品CD購入

が減ったという人は26%で、増えた人（18%）を上回る。

次の2頁に報告書の抜粋を紹介します。なお、本調査報告書全文は当協会HP上に掲載してありますので、併せてご覧ください。

調・査・設・計

1. 調査手法：

あらかじめ無作為に定めた地点内での割付の属性で対象者を選定し、調査を依頼。留置自記入後郵送にて回収。

2. サンプル設計：(単位：人)

	TOTAL	男性	女性
中学生	168	84	84
高校生	168	84	84
大学・専門学校生	168	84	84
20代	168	84	84
30代	164	82	82
40～55才	164	82	82
TOTAL	1000	500	500

*20代は学生を含まず

3. 調査エリア及び調査地点数及び集計方法：

首都圏、中京、京阪神エリア

*各エリアの調査地点数（首都圏エリア 25 地点・中京エリア 10 地点・京阪神エリア 15 地点／合計 50 地点）は、3エリアの人口比に合わせた。また、集計方法は、実際の人口構成比に合わせるために係数をかける「ウェイトバック」という統計手法を用い、人口構成比（平成12年国勢調査を参照）に沿った数値を使用。

4. 調査期間：

平成14年6月14日（土）～7月3日（水）

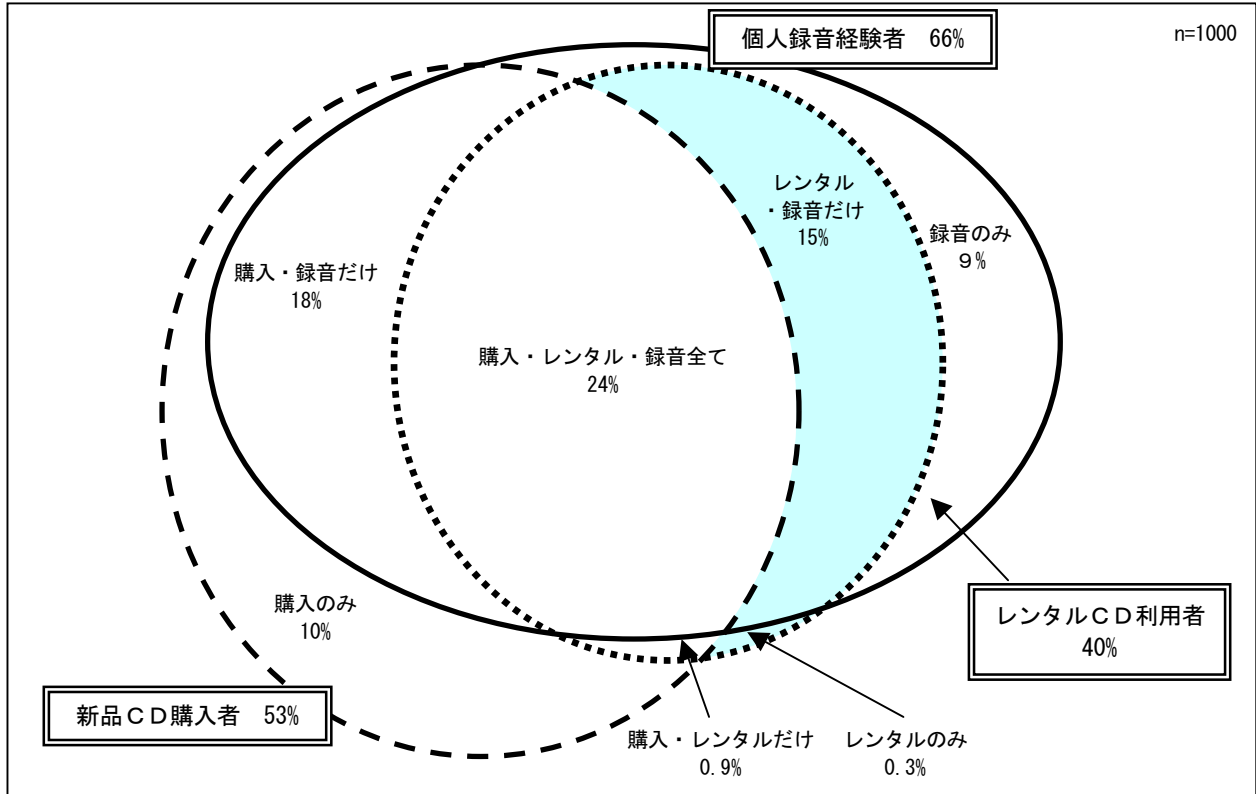
調査企画：当協会マーケティング委員会

調査設計・分析：(株)放送出版エージェンシー

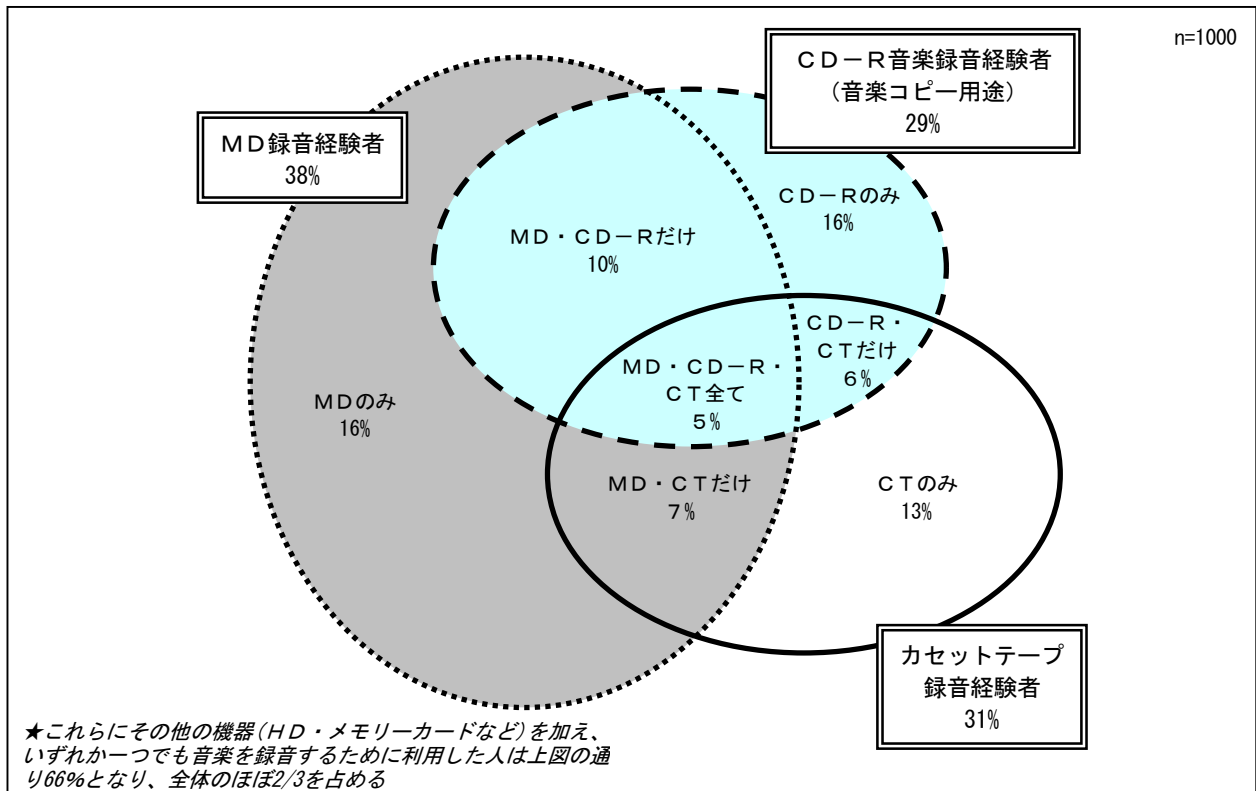
調査実施・集計：(株)マーケティングディレクションズ

音楽ソフトと個人録音をめぐる概況

(1) 音楽ソフトの購入、レンタルと個人録音のボリューム



(2) コピー先メディアと相互関係



個人・趣味の利用内での音楽複製のための生メディア使用枚数推計

■音楽複製用に使用されたCD-R/RW枚数、及び他メディア枚(本)数・推計 —— 過去半年間 ——

メディア	1人あたり平均録音枚(本)数	実際の調査対象年齢の日本の人口数	エリア特性修正係数	延べ枚数(推定)
MD	2.56	75,220,000	0.89	171,000,000
カセットテープ	1.06			71,000,000
CD-R/RW (データ用+オーディオ用)	1.77			118,000,000

※ 人口数(7,522万人)は、総務省による平成13年10月1日現在の12~55歳の推定人口

* エリア特性修正係数：今回の調査対象サンプル(東阪名)から、全国ベースでの需要を推計するために使用

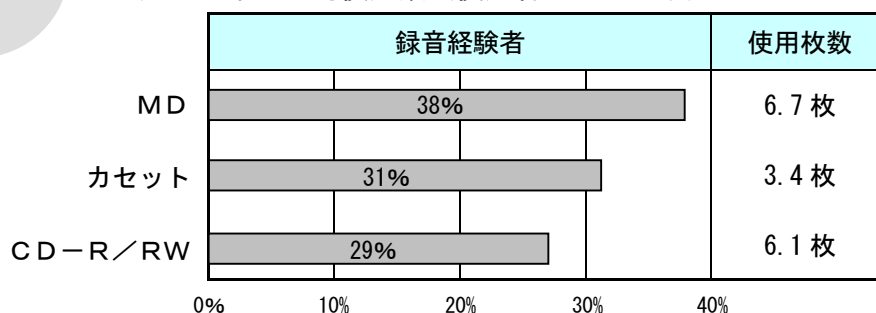
* この修正係数は平成13年家計調査年報(総務省統計局)の統計値より、以下の数式によって導いた

3,753円(全国平均の世帯あたり年間『オーディオ・ビデオディスク』(生CD-R等を含む項目)支出金額)

÷4,197円(首都圏、中京、京阪神エリアの同支出金額)

<推計方法>

音楽ソフトのコピー用メディア平均使用数(使用者1人当たり)



※ 母数は各々メディア使用者当たり。CD-Rはオーディオ専用含む

- 過去半年間に音楽用にコピーされたCD-R/RWの1人あたり平均録音枚数：
29%(録音経験者)×6.1(使用数量)=1.77枚(半年間の音楽コピー用途CD-R/RW延べ枚数)
- 1.77枚×7,522万人(対象年齢人口数)×0.89(エリア特性修正係数)=1億1,800万枚
(過去半年間・音楽コピー用途CD-R/RW延べ枚数)
- 音楽コピー用に使用されるCD-R/RWの1年間の延べ推計枚数
1億1,800万枚×2=2億3,600万枚

日本記録メディア工業会の推計によれば、本年(2002年)の生CD-R/RW需要予測は、4億9,200万枚となっている。

今回の調査から「音楽用に焼かれた」CD-R/RWは半年間で約1億1,800万枚であり、年間では約2億3,600万枚となり、国内で一般に流通する生CD-R/RWの約48%が音楽コピー用に使われていると推計される。

平成14年度 「レコード産業・研究セミナー」開催

音楽産業に関する最新の情報提供を目的に

当協会は、9月5日（木）午後1時より、グランドオーク半蔵門において「第3回レコード産業・研究セミナー」を開催しました。

今回のセミナーは、主にレコード販売に従事する方を対象とし、21世紀のレコード産業において、よりよいビジネス展開を実現していただくため、広く音楽産業に関する最新の情報提供を行うことを目的に開催したものです。

第1回は一昨年福岡にて、第2回は昨年宇都宮・名古屋にて開催し、今回初めて東京地区で開催しました。

今回のセミナーは、長期化する消費低迷の状況を乗り切るため、受講者の方々の具体的な参考となるように、現在販売店等で一線でご活躍の方に講師やパネリストとして多数ご参加頂き、実際の成功例を数多く取り上げる形で、講演及びパネルディスカッションの2部構成で実施致しました。

当日会場には、レコード販売店、レコードメーカー等の業界関係者やマスコミ等約190名もの方々が来場され、例年以上に活況となりました。

また、同ホテル別会場では、店頭デジタル試聴機メーカー等5社の展示会を併設し、こちらも同様に好評を頂きました。



▲講演する(株)カルコスの信田哲彦社長

プログラム

■第1部

消費低迷下の販売店経営（講演）

（13:30～15:00）

○講師：(株)カルコス 代表取締役社長 信田哲彦 様
※(株)カルコス：愛知、岐阜において大型郊外書店を経営。ここ数年の不況下にありながら、同社はその独特な経営方針によって、平成元年から13年の間に売上を5倍に伸ばしている。

■第2部

中高年齢層に目を向けたレコード販売店 施策—アダルト市場対応成功例—（パネル ディスカッション）（15:15～17:00）

○モデレーター：(株)博報堂 エルダービジネス推進
室室長 阪本節郎 様

○パネリスト：<社名50音順>

- ・(株)五番街 常務取締役 加納義夫 様
- ・(株)JUEGIA 店舗営業部部長 野原邦彦 様
- ・(株)新星堂 営業本部販売促進部部長 野村均 様
- ・(株)山野楽器 本店 AVソフト課課長 米本俊弘 様



▲パネルディスカッションの様相

音楽ギフトカードを媒体とした他業種からの需拡

日本レコード普及

音楽産業（CD・DVD等のパッケージ、楽器等）の需要拡大の役割を担う、業界唯一の全国共通商品券『音楽ギフトカード』は年間1,000万枚（500円券換算）の発券実績を目指し躍進中ですが、そのなかで1996年に登場した、テレカサイズの自由にデザインできる『オーダーメイド音楽ギフトカード』が今年の春、基本的な仕様変更を行いその斬新なデザインが大いに話題を集めています。

『オーダーメイド音楽ギフトカード』はレコードメーカー、販売店をはじめとする業界内での需要もさることながら、他業種企業からの引き合い増加がこのところ顕著になっています。昨年のコココーラ「No Reason」（桑田佳祐主演のTVCFが印象的な）や、長瀬智也がキャラク

ターのLOTTE「Toppo」等、全国規模の懸賞キャンペーンの景品用途など枚挙にいとまがありません。

この需要現象は、他業種から見れば人気アーティストのミリオンセラーや話題に事欠かさない華やかな“業界”として魅力的に写ることによるものでしょう。

改めてその効能を考えてみれば、商品券として極めて高い回収率を誇る（96%）『音楽ギフトカード』が、市場に流通拡大することは当然CDやDVDといったパッケージの売上増を伴うものであるし、また、たとえ500円券1枚でもプレゼントされれば、それがCDショップへお客様の足を向けさせ、3,000円のアルバムを購入するといった動機付けとなり、さらには複数購入

●オリジナル音楽ギフトカード企業キャンペーン使用実例抜粋(平成13年度)

業種	企業名	キャンペーン/規模
飲料	日本コカコーラ	インスタントウィン…コカ・コーラ、ダイエットコーラ500ml ペットボトルのスクラッチくじ Wチャンス…「ハズレくじ」5枚1口の応募、抽選で10,000名にプレゼント
	日本コカコーラ	爽健美茶 Natural Breeze 2001 happy Live 倉木麻衣イラスト入り音楽ギフトカードプレゼント
菓子	明治製菓	キシリッシュ キャンペーン 抽選で音楽ギフトカード4,000名プレゼント
	ロッテ	ToppoオリジナルNAGASE音楽ギフトカードプレゼント 抽選で毎月1,000名、総計3,000名にプレゼント
	江崎グリコ	SAYAKAからの贈り物（近畿地区）抽選で500名に 音楽ギフトカードプレゼント
食品	日清食品	広末涼子オリジナルカードコレクション プレゼントキャンペーン 日清焼きそばU.F.O.他、対象商品のスピードくじで オリジナル音楽ギフトカード総計で10,000名プレゼント
	AJINOMOTO	クノール 北海道とろ〜りポタージュ 販売店向けキャンペーン
光学機器	OLYMPUS	どこでも気軽にカンタンシアター〜 EYE-TREK 発売キャンペーン
	ポシュロムジャパン	メダリスト（田中麗奈）キャンペーン
たばこ	ラッキーストライク	ラッキーストライク 130 YEARS OF EVOLUTION キャンペーン
	セーラム	Selem Wave 2002 サウンドセレクションキャンペーン
衣料	山陽商会	E.Z BY ZENGNA キャンペーン

のきっかけとなり客単価のアップに結びつき、まさに『音楽ギフトカード』の普及は音楽業界の需拡に不可欠なツールであります。

こうした観点から音楽業界内に今一度目を向けると、『オーダーメイド音楽ギフトカード』の潜在需要が意外に多いことが目につきます。レコードメーカー新譜の販促ノベルティーや、インセンティブといった用途が限りなくある中で、いまだに“テレカ”の需要があるのも現実です。

こうした業界内需を掘り起すことが更に外需拡大をもたらし、これらの前向きの回転が本格的な音楽業界の復活、拡大のきっかけにつながるのではないのでしょうか。

より早く、より身近に
テレカサイズの「音楽ギフトカード」
デザイン、印刷が自由自在にできます。



カードサイズ商品券の決定版!新しくなった!

オーダーメイド音楽ギフトカード

- オーダーメイド音楽ギフトカードは、テレカサイズでPETタイプの商品券です。(磁気カードとは異なります)
- カード片面は、商品券の証票として規定のデザインが印刷されます。

Sample

フリーデザイン スペース
(白地)

MUSIC GIFT CARD A B 音楽ギフトカード500円
1000円券

※原則として、フリーデザインスペースにA:「MUSIC GIFT CARD」
ロゴ、B:額面金額、弊社名、住所表示が入ります。

500円券 1000円券

額面500円券と、
額面1000円券の
2種類があります。

企業のPR、イベントの記念品、
キャンペーンの販売促進ツール等、
感謝の気持ちの贈りものとして、幅広くご利用いただけます。

音楽ギフトカードってこんなに便利

音楽ギフトカードは、全国約7,000店の取扱加盟店・CD店、楽器店で利用になれる全国共通の商品券です。ご希望のCD、ビデオ、DVD、楽器、楽譜、アクセサリなどご購入にご利用いただけます。有効期限はありません。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

日本レコード普及株式会社 www.musicgiftcard.com
〒104-0045 東京都中央区築地2-8-9 TEL:03-3542-4181(F)



音楽ギフトカード1000円
日本レコード普及株式会社
東京都中央区築地2丁目8番9号

音楽は、かけがえのない文化です。

Respect Our Music 本物の音楽を大切に

CCDD (コピーコントロールCD) は、健全な音楽の
複製サイクルを守るために採用されている技術です。

社団法人 日本レコード協会
http://www.riaj.or.jp/



レコード店頭用デジタル試聴システム 特別展示会開催

当協会は、9月5日にグラウンドアーク半蔵門において開催した「レコード産業・研究セミナー」との併設で、(株)ジャパンミュージックデータ(以下jmd)が運用するレコード・音楽CD、約7万3千タイトルの約97万曲(8月現在)の音源データベース(以下DB)を活用したデジタル試聴システムの展示会を開催しました。

このデジタル試聴システムは、新譜のみならず国内に流通するほとんどの旧譜についても、商品を未開封のまま試聴することを可能としたものです。

今年度に入り、本試聴システムの認知度の向上と旧譜音源のDB整備が相俟って一気にシステムの店頭導入が進んでおり、国内254店舗で2,007端末(9月末現在)が稼動しています。

今回の展示会は、jmdが運用する音源DBを利用した試聴システムメーカー全社が参集するはじめての機会となりました。

レコード店頭におけるレコード・音楽CD試聴サービスの最新の事情を全て把握できる場であったため、販売店、業界関係者、マスコミ関係者等多数の方々が来場されました。



■9/5展示会出展社一覧

会社名	サービス名	URL	TEL
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ	インターガイド	http://www.smci.jp/	03-3266-7811
(株)ブイシク	Listening pod	http://www.listening-pod.com/	03-5468-0121
(株)プラネット	HOTNAVI/ホットナビ	http://www.pnet.co.jp/	03-3479-6742
プレクスター(株)	Listening Station	http://www.plextor.co.jp/	03-3517-8063
レーベルモバイル(株)	Mコード	http://labelmobile.com/	03-5772-4345
(株)ジャパンミュージックデータ		http://www-jp.jmd.ne.jp/	03-3546-1811

C D通販サイト向けWEB試聴実証実験

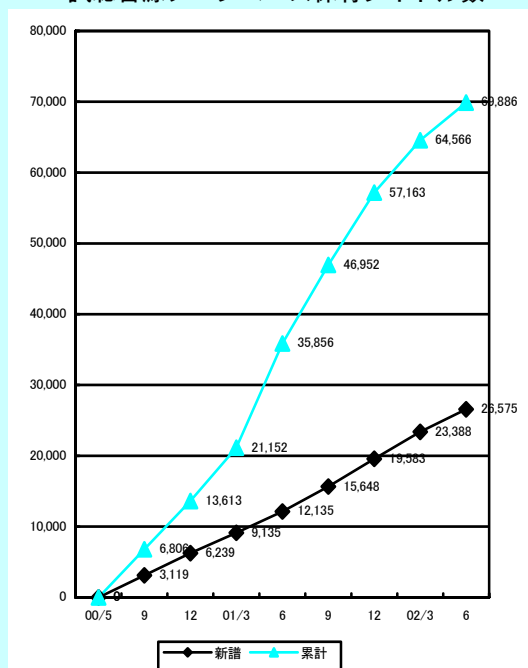
(株)ジャパンミュージックデータ(jmd)は、当協会会員社の協力により、同社が運営・管理している店頭試聴音源をさらに有効利用することを目指し、現在、4つのインターネットCD通販サイトにおいて、音源試聴の実証実験を実施しています。

この実証実験では、インターネット上でのCD音源試聴の本格導入に向け、技術的な検証、ユーザーの利便性等多角的な面からの可能性について検討を進めています。

本格的な導入が行われると、レコード特約店が運営するインターネット通販サイトにおいて、パッケージ販売を多面的に展開することが可能となり、また、ユーザーと特約店との接点を強化することも可能になると考えられます。

jmdでは、今後も、当協会会員社と連携をとりながら、このシステムの本格導入に向け、準備を進めていく予定です。

試聴音源データベース保有タイトル数



第40回 福祉・厚生施設への レコード寄贈の実施について

当協会では、毎年、国際音楽の日(10月1日)を中心とした日程で、全国の福祉・厚生施設へのレコード寄贈を実施しています。

今年で40回を迎えるレコード寄贈は、各レコード会社の協力により、過去39年間に総計約90万枚のレコードを各地の施設に贈呈していますが、今年も全国400の施設に、財団法人日本民生文化協会(民文協)を通じて、8,000枚・巻の音楽CD・カセットテープを寄贈しました。

「新品CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2002廃盤 特別謝恩セール」開催のお知らせ

社団法人日本レコード協会に加盟しているレコードメーカー24社は、2002年10月31日(木)から11月13日(水)までの2週間、インターネットを利用した通信販売による「新品CD大ディスカウントフェア～レコードファン感謝祭2002 廃盤特別謝恩セール～」を開催します。

この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて実施するもので、各社からレコードを特別価格にて提供頂き、1992年から毎年秋に実施しています。これまで多くの音楽ファンの皆様から大変ご好評を頂いており、おかげさまで、今年で第11回を迎えました。

一昨年までは、東京の特設会場において2日間のみの開催でしたが、昨年からは、全国の音楽ファンの皆様のご要望にお応えし、インターネッ

トを利用した通信販売の形で実施しています。

皆様からのアクセスを心からお待ちしています。

■名称

「新品CD大ディスカウントフェア～レコードファン感謝祭2002 廃盤特別謝恩セール～」

■開催日程

2002年10月31日(木)9:00～11月13日(水)24:00(なお、10月15日(火)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、10月31日(木)午前9時から開始致します)

■主催

社団法人日本レコード協会加盟メーカー24社

■協賛

社団法人日本レコード協会

■運営

株式会社 ジャパン ミュージック データ

■出品

CD(8cm・12cm)、ビデオカセット、ビデオディスク、アナログディスク

■出品数

5,000タイトル15万枚(予定)
※今年はカセットテープの出品はございません。

■販売価格(今年は輸入盤の価格が2種類設定されています)

- (1) 廃盤: 70%OFF(税別)
←DVD含む
- (2) 輸入盤(単品): 800円(税別)
- (3) 輸入盤(セット): 1,600円(税別)
- (4) 25%OFF: 25%OFF(税別)
←時限再販期間経過商品
- (5) 特価LD(単品): 1,000円(税別)
- (6) 特価LD(セット): 3,000円(税別)

■購入枚数制限

1人18枚までとし同一商品の複数

枚購入は不可。

※セットもの等は1枚換算とし、同一商品の複数枚購入はできません。

■送料

全国一律420円(税込)

■支払方法

代引き及びクレジット
※代引き315円(税込)、クレジット/JCB, VISA, MASTER
※ただし、島しょ部はクレジットのみ。

■商品のお届け

日本国内に限定します。
※お手元に届くまでにご注文から10日程度かかります。

■商品のオーダー受付開始日時

クラシック、ジャズ、輸入盤、洋楽POPロックを除く商品 10月31日(木)午前9時から
クラシック、ジャズ、輸入盤、洋楽POPロックの商品 11月5日(火)午前9時から

■広告宣伝

新聞: 朝日新聞全国版朝刊(10月下旬掲載予定)、
雑誌: WHAT'S IN?(10/14発売)、CDジャーナル(10/19発売)、Eメールによる開催告知(9月30日/昨年ユーザー登録され、告知メール希望された方のみ)、その他。

■登録者数

(参考) 約6,000件(昨年実績)

■ホームページアドレス

URL: <http://fair.jmd.ne.jp>
※詳細は、ホームページをご覧ください。
(10月1日～告知サイト開設)

【お問い合わせ先】

株式会社 ジャパン ミュージック

データ

Eメール: fair@jmd.ne.jp

社団法人 日本レコード協会 広報部

TEL 03-3541-4433 FAX 03-3541-4460

**不法録音物対策委員会
「トーク&コンサート2002 in
福島」開催が決定**

不法録音物対策委員会では、「不法録音物撲滅キャンペーン」として著作権意識の啓発を目的とし、さまざまな広報活動を展開しています。その一環として、カラオケ教室などの各種音楽教室の主宰者・講師を対象に、キャンペーン・コンサートを実施しています。

このキャンペーン・コンサートは今年も「トーク&コンサート2002 in 福島」というタイトルで行われます。前身であるカラオケ教室不法録音物対策委員会の初回開催から、北は札幌から南は熊本までの全国12箇所で開催し、いずれも成功を収めたため、今年も開催の運びとなりました。

調査活動の中で行う著作権意識の啓発活動は、直接訪問する改善・警告等が中心で、その行動範囲は限られています。

しかし、作家やアーティスト、制作現場の方々の不法録音に対する思いや声を直接聴くことができるということは貴重な体験であり、著作権意識が希薄な中高年齢層に直接訴える良い機会であることにより、このイベントが催されます。

内容は二部構成で、第一部はビデオ上映とトークショーで新人歌手のデビューにまつわる話や、歌が生ま

れてから一枚のCD・カセットになるまでの道のりを描いたビデオの上映とそれにまつわるトークショー、第二部は来場者の方が歌唱指導を作家から直接受けるという歌唱レッスンと歌手のミニコンサートなどが予定されています。

詳細は下記の通りです。

【日程・会場】

10月24日(木) 福島市・福島テルサFTホール(480名招待)

【出演者・歌手】

鈴木淳(作曲家) たきのえいじ(作詞家) 仁井谷俊也(作詞家) 水川忠良(ディレクター) 長谷川千恵(TE社歌手) 田村恵(歌手) 椎名佐千子(K社歌手)

【司会進行】

吉川精一

【開場・開演】

開場 18:00/開演 18:30

**IFPI、コピーコントロールCDの
ロゴマークを発表**

9月17日、IFPI(国際レコード産業連盟)は、CDにコピーコントロール技術を施していることを消費者に明確に示すためのロゴマークを発表しました。ロゴマークの使用は強制ではなく、各レコード会社によって決定されることとなります。

このロゴマークはCD本体、付属品やステッカー上に表示され、そのCDに採用されている技術の詳細解説と併記することも可能です。

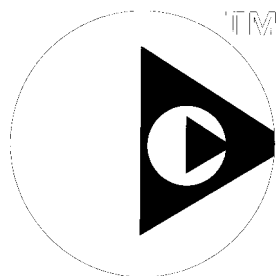
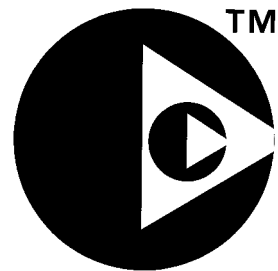
コピーコントロールCDは、海賊

版CD、不正コピー、インターネットでの違法なコンテンツ流通等が急増していることへの対応策であり、アーティスト、作詞・作曲家、レコード会社、小売業者など音楽CDの製作や流通に携わる全ての関係者を違法行為から守ることを目的としています。

IFPI会長兼CEOのJay Berman氏は、今回のロゴマーク発表に際し、次のコメントを発表しています。

「コピーコントロールは、音楽産業にとって、大量コピーやデジタル海賊に対抗するための当然の自衛手段である。今回発表されたロゴマークは、レコード会社や小売業者が、そのCDにはコピーコントロール技術が施されていることを消費者に伝える上で役立つであろう。」

IFPIは、今年5月にコピーコントロールCDの明確な表示基準に関するガイドライン発行しましたが、これを補完するものとして、今回のロゴマークが制定・公表されました。



2002年9月会議メモ(主なもの)

(9月1日~9月31日)

9・3 情報技術委員会
9・4 マーケティング委員会
9・10 レコード倫理審査会

9・11 広報委員会
9・20 執行委員会
9・27 理事会

オーディオディスクレコードの輸出入状況

本号は、2002年上期（1～6月）のアナログディスクとCDの輸出入実績を紹介しします。
資料：財務省関税局「日本貿易統計」（通関実績）

表1 アナログディスクとCDの輸出入実績(2002年1～6月)

種類	輸 出				輸 入			
	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比
コンパクトディスク	973	27	1,332	90	29,744	104	11,815	99
アナログディスク	32	315	14	248	3,901	83	2,371	92
計	1,006	28	1,346	91	33,645	101	14,186	98

表2 アナログディスクとCDの地域別輸出入実績(2002年1～6月)

数量:千枚、金額:百万円、()内は対前年比

国 名		輸 出			輸 入		
		アナログディスク	C D	計	アナログディスク	C D	計
アメリカ	数量	5 (480)	335 (82)	340 (83)	2,267 (79)	4,781 (102)	7,048 (93)
	金額	3 (269)	509 (93)	512 (94)	1,406 (91)	4,010 (108)	5,416 (103)
イギリス	数量	3 (125)	47 (117)	50 (118)	1,033 (86)	2,679 (115)	3,712 (105)
	金額	4 (163)	48 (95)	51 (98)	683 (92)	1,911 (109)	2,594 (104)
ドイツ	数量	4 (-)	50 (145)	54 (155)	212 (105)	3,900 (113)	4,112 (113)
	金額	2 (-)	33 (87)	35 (92)	117 (102)	2,176 (104)	2,292 (104)
オランダ	数量	- (-)	21 (16)	21 (16)	25 (75)	946 (74)	971 (74)
	金額	- (-)	34 (40)	34 (40)	18 (90)	338 (45)	356 (46)
フランス	数量	1 (107)	29 (58)	30 (59)	79 (110)	390 (113)	469 (112)
	金額	1 (105)	48 (84)	49 (84)	47 (94)	294 (118)	340 (114)
イタリア	数量	- (-)	7 (114)	7 (114)	61 (66)	325 (94)	387 (88)
	金額	- (-)	11 (123)	11 (123)	37 (75)	168 (120)	205 (108)
オーストリア	数量	- (-)	2 (53)	2 (53)	3 (733)	286 (253)	289 (255)
	金額	- (-)	3 (69)	3 (69)	2 (759)	167 (373)	169 (375)
韓 国	数量	9 (-)	33 (180)	42 (226)	- (-)	2,122 (117)	2,122 (117)
	金額	1 (-)	69 (161)	70 (163)	- (-)	249 (221)	249 (220)
台 湾	数量	10 (454)	153 (78)	163 (82)	- (-)	3,280 (55)	3,280 (55)
	金額	4 (263)	114 (71)	119 (73)	- (-)	437 (55)	437 (55)
香 港	数量	- (-)	190 (7)	190 (7)	- (-)	4,706 (222)	4,706 (222)
	金額	- (-)	293 (110)	293 (110)	- (-)	500 (118)	500 (118)
シンガポール	数量	- (-)	38 (103)	38 (103)	- (-)	3,378 (84)	3,378 (84)
	金額	- (-)	82 (94)	82 (94)	- (-)	491 (109)	491 (109)
中 国	数量	- (-)	1 (157)	1 (157)	- (-)	380 (99)	380 (99)
	金額	- (-)	4 (44)	4 (44)	- (-)	129 (693)	129 (693)
フィリピン	数量	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	金額	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
タ イ	数量	- (-)	28 (1967)	28 (1967)	- (-)	51 (42)	51 (42)
	金額	- (-)	11 (113)	11 (113)	- (-)	49 (43)	49 (43)
イスラエル	数量	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	15 (369)	15 (369)
	金額	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	16 (308)	16 (308)
カナダ	数量	- (-)	6 (85)	6 (89)	9 (166)	276 (51)	285 (53)
	金額	- (-)	10 (98)	10 (102)	4 (167)	305 (52)	309 (52)
ブラジル	数量	- (-)	1 (183)	1 (183)	1 (191)	234 (81)	235 (81)
	金額	- (-)	4 (235)	4 (235)	1 (253)	205 (83)	205 (83)
オーストラリア	数量	- (-)	4 (23)	4 (23)	3 (230)	92 (88)	94 (90)
	金額	- (-)	4 (23)	4 (23)	1 (65)	58 (95)	60 (94)
そ の 他	数量	1 (14)	30 (114)	30 (102)	207 (95)	1,903 (271)	2,110 (229)
	金額	- (-)	54 (77)	54 (77)	57 (98)	311 (98)	368 (98)
合 計	数量	32 (315)	973 (27)	1,006 (28)	3,901 (83)	29,744 (104)	33,645 (101)
	金額	14 (248)	1,332 (90)	1,346 (91)	2,371 (92)	11,815 (99)	14,186 (98)

- (注) 1. 輸出入実績は、委託加工品(OEM)を含む。
2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約から直接輸入した数量は、約22%と推定される。
3. 数量は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。

GOLD ALBUM 他認定作品

2002年 8 月度

アルバム(22作品)

< 邦楽 >

■トリプル・プラチナ

GREEN/B'z/2002.07.03(BM)



■ミリオン

TOKYO CLASSIC/RIP SLYME
/2002.07.24(WJ)



■ダブル・プラチナ

ハイヌミカゼ/元ちとせ/2002.07.10(ES)

■プラチナ

kiss~dramatic love story~/Various/
2002.07.10(BMG)
Drink! Smap!/SMAP/2002.07.24(V)
TRUE/中島美嘉/2002.08.28(A)

■ゴールド

長渕剛 BEST~風~/長渕 剛/2002.06.26(FL)
長渕剛 BEST~空~/長渕 剛/2002.06.26(FL)
good day sunshine/TUBE/2002.07.31(A)
ぼ/B-DASH/2002.08.07(UM)
ROSSO E AZZURRO/堂本 剛/2002.08.07(JE)
Naked and True/hiro/2002.08.07(AVT)

< 洋楽 >

■トリプル・プラチナ

FINE - TV HITS and happy music -/VARIOUS/
2002.04.24(BMG)

■ダブル・プラチナ

BY THE WAY/レッド・ホット・チリ・ペッパーズ/
2002.07.10(WJ)

■プラチナ

DISCOVERY/DAFT PUNK/2001.03.10(TO)
kiss~for million lovers~/Various/2002.02.20(BMG)
ザ・エミネム・ショウ/エミネム/2002.05.30(UM)
リンク/VARIOUS(エンヤ、フェイス・ヒル、U2 他)/
2002.07.24(WJ)
レット・ゴー/アヴリル・ラヴィーン/2002.07.24(BMG)
ザ・エイティーズ/VARIOUS(a~ha、マドンナ、ジョン・レ
ノン他)/2002.08.07(WJ)

■ゴールド

THE BEST OF vefarre Cyber TRANCE/V.A./
2002.03.06(AVT)
カートゥーン・ヒーローズ~ベスト・オブ・AQUA/AQUA
/2002.05.22(UM)

シングル(7作品)

< 邦楽 >

■ダブル・プラチナ

H/浜崎あゆみ/2002.07.24(AVT)

■プラチナ

亜麻色の髪の乙女/島谷ひとみ/2002.05.09(AVT)
またここで会いましょう/GLAY/2002.07.24(PC)
逢いたい気持ち/GLAY/2002.07.31(PC)
眠れぬ夜は君のせい/MISIA/2002.08.08(AVT)

■ゴールド

幸せビーム!好き好きビーム!/ハッピー7/2002.07.03(EP)
WILL/中島美嘉/2002.08.07(A)

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR:アンティノスレコード/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMG ファンハウス/C:日本コロムビア/CR:日本クラウン/CT:カッティング・エッジ/DF:デフスターレコーズ/EI:エピックレコーズ・インターナショナル/EP:ゼティマ/ES:ソニー・ミュージック EK/Epic Records/EW:イーストウエスト・ジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JF:J-FRIENDS P./K:キングレコード/KS:ソニー・ミュージック EK/Ki/oon Records/MH:ソニー・ミュージックハウス/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PD:ポリグラム/PI:パイオニア LDC/PO:ポリドール/PS:ポリスター/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SI:ソニーレコーズ・インターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズ・ファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/TRI:トライエム/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/VAP:バップ/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/ZA:ヴァインレコーズ/ZJ:ゾンバ・レコーズ・ジャパン

2002年8月レコード生産実績

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	8月実績							2002年(1月~8月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	652	3	80	355	1	150	5,138	2	85	2,681	1	104
		洋	0	0	29	0	0	11	24	0	5	6	0	15
		計	652	3	80	355	1	149	5,162	2	79	2,687	1	102
	12cm CD	邦	5,394	22	81	4,188	13	85	53,665	24	80	41,030	14	80
		洋	86	0	62	74	0	49	1,047	0	124	777	0	108
		計	5,479	22	81	4,262	14	84	54,712	24	81	41,808	15	81
	小計	邦	6,045	25	81	4,543	15	88	58,803	26	81	43,711	15	81
		洋	86	0	62	74	0	49	1,070	0	79	784	0	103
		計	6,132	25	81	4,617	15	87	59,874	27	81	44,495	16	82
12cmCD アルバム	邦	11,140	46	93	16,680	54	87	106,731	48	86	165,768	58	79	
	洋	6,093	25	104	8,869	29	100	48,031	21	102	68,460	24	102	
	計	17,233	70	97	25,549	82	91	154,762	69	90	234,228	82	85	
CD 合計	邦	17,185	70	89	21,223	68	87	165,534	74	84	209,479	73	80	
	洋	6,179	25	103	8,944	29	99	49,102	22	102	69,244	24	102	
	計	23,365	95	92	30,166	97	91	214,636	96	88	278,723	97	84	
アナログ ディスク	邦	76	0	103	74	0	115	395	0	47	444	0	51	
	洋	11	0	54	13	0	53	87	0	60	91	0	55	
	計	87	0	92	86	0	98	482	0	49	536	0	52	
カセット テープ	邦	1,016	4	82	779	3	99	8,479	4	84	6,641	2	85	
	洋	2	0	25	2	0	26	45	0	103	40	0	120	
	計	1,018	4	82	781	3	99	8,524	4	84	6,681	2	85	
総合計	邦	18,277	75	88	22,076	71	88	174,409	78	84	216,564	76	80	
	洋	6,193	25	103	8,958	29	99	49,233	22	102	69,375	24	102	
	計	24,470	100	91	31,033	100	91	223,642	100	87	285,939	100	84	

表2. ビデオレコード

	8月実績						2002年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	2,999	74	117	5,593	63	102	30,371	77	139	49,550	63	111
LD・その他	140	3	97	184	2	88	1,280	3	87	2,248	3	91
テープ	893	22	76	3,094	35	59	7,541	19	73	26,658	34	65
合計	4,032	100	104	8,871	100	81	39,192	100	116	78,455	100	89

表3. オーディオ/ビデオ合計

	8月実績						2002年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	24,470	86	91	31,033	78	91	223,642	85	87	285,939	78	84
ビデオ	4,032	14	104	8,871	22	81	39,192	15	116	78,455	22	89
合計	28,502	100	93	39,904	100	88	262,834	100	91	364,394	100	85

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	8月実績						2002年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	7,577	100	74	1,044	100	-	79,989	100	91	9,427	100	88
洋盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,577	100	74	1,044	100	-	79,989	100	91	9,427	100	88

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

THE RECORD 2002年10月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 富塚 勇

編集人 田辺 攻

発行日 2002年10月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.riaj.or.jp/>

